

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	鎌倉支援学校	課程・学科 教育部門・学部	肢体不自由(小・中・高・訪問) 知的障害(高本校・分教室)
-----	--------	------------------	----------------------------------

### 1 学校のミッション

共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行う。

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育を行うとともに、一人ひとりの障がいの状態等に応じた就労支援の取組を充実させる。医療的ケアを必要とするなど、多様な教育的ニーズのある児童・生徒の教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障がい及び健康等の状況に合わせた専門性の高い指導を実践する。加えて、児童・生徒一人ひとりの夢や希望の実現に向けて、学校を取り巻く人びとと共に「たくましく生きる力」を育てる確かな学びを積み上げる授業実践に取り組む。

また、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これらの学校と交流及び共同学習等を通した、児童・生徒の相互理解を図る。

### 2 学校教育目標

#### ○ 子どもの人権を大切に作る学校

全ての子どもは、一人ひとり人権があるという前提に立ち、子どもの気持ちや意思を受け止めて、日々の教育活動、児童・生徒指導、教育相談等を行います。

#### ○ 子どもの可能性を拓く学校

子どもの自己肯定感の充実を基盤にして、自立し社会参加するために必要な指導と支援を行います。

#### ○ 地域で学び、地域に貢献する学校

共生社会の学校として、地域と密着した教育活動を推進します。また、地域の学校におけるインクルーシブ教育の推進に貢献します。

#### ○ 安心して生活できる学校

子どもの安全を最優先した学校運営を行うとともに、全ての教職員が法令等を遵守し、不祥事防止に組織的に取り組みます。

### 3 計画策定時点での課題

- ・4年間の取組の成果をもとに、授業実践を積み上げていくことが課題である。
- ・個々に応じた効果的な支援・指導を組織的・連携的に行うことが課題である。
- ・ニーズの把握と学部と分掌が連携し、進路・支援業務、保護者対応について教員の理解を深めていくことが課題である。
- ・地域のニーズを把握した発信方法と児童・生徒の主体的な活動の展開が課題である。
- ・同僚性・チーム力の発揮、学校の防災力向上、業務の整理が課題である。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を推進し、「生きる力」「主体性」を育てる確かな学びを積み上げる授業実践に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部助言者を招聘し、校内研究の充実・深化を図り、授業実践の積み上げを推進する。</li> <li>・ 学部と情報・情報教育係が連携し、効果的なICT機器の利活用を推進する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒一人ひとりの夢や希望の実現に向け、たくましく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援・指導を組織的・連携的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年間の取組の成果を活かし、専門職等と連携し、児童・生徒の実態把握やニーズを把握する。</li> <li>・ 自己理解や自己肯定感を高める授業作りを推進し、「たくましく生きる力」に繋げる。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中・高を通した一貫した教育を行い、一人ひとりの障害の状況等に応じた就労支援・進路指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業等の活用を積極的に行い、保護者・教員向け進路学習会の充実を図る。また、進路・支援業務の理解を深め、適切な対応に繋げる。</li> <li>・ 保護者のニーズを把握し、タイムリーに対応していく。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共生社会の実現に向け、地域と連携・協働し教育活動の充実を図る。また、センター的機能を発揮し、教育的ニーズに応じた効果的支援の推進と共に、交流及び共同学習等を通じた、児童・生徒の相互理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人材や企業等を積極的に活用し、効果的な授業作りを推進する。</li> <li>・ 地域のニーズと学校の役割を明確にし、効果的な情報発信を進める。</li> <li>・ 児童・生徒の主体的な活動を推進し、相互理解を深める。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不祥事の未然防止に努め、同僚性・チーム力を高め、不祥事防止の徹底を図る。</li> <li>・ 児童・生徒の安全と健康を守り、計画的・組織的な学校安全を推進する。</li> <li>・ ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、教員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風通しの良い職場づくりを目指し、同僚性やチーム力を高める。未然防止に繋がる情報共有を各学部・分掌で計画的・継続的に取り組む。</li> <li>・ 分掌・学部と連携し、安全・健康教育を推進する。</li> <li>・ 校務の整理を進め、業務内容の取捨選択と効率化を推進する。</li> </ul>